

「さあ、いこう！」 ～令和5年度の始まりにあたって～

およそ1か月前の卒業式では、「卒業は、大きな節目であり、区切りですが、それは、終わりではありません。むしろ、新しい生活の始まりだと思います。」と式辞のなかでお伝えしました。この4月、まさに新1年生または上級生となった児童生徒の皆さんは、ワクワクの期待とドキドキの不安とともに新しい生活、そして学びが始まりました。

4月10日（月）長良医療センターでは病棟内で学ぶ生徒の入学式、11日（火）には、学校にて入学式及び前期の始業式が行われ、「自分のペースで、あせらず、じっくりと長良特別支援学校での歩みを進めていきましょう。」「人はその個性、抱く気持ちや考えは一人一人異なります。皆が同じではなく異なるからこそ、それぞれの在り方に意味があり、お互いに認め合うことができます。」とお伝えしました。全校児童生徒40人の児童生徒一人一人のある姿を大切に、私たち長良特別支援学校教職員も一緒に歩みを進めていきます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、5月には感染症法の分類において第5類へと移行していくことに伴い、学習活動の内容や方法を個別具体的に工夫しながら実施していきます。とは言え、重症化リスクのある児童生徒が在籍し、各医療機関とも日常的に行き来する当校におきましては、慎重さも兼ね合わせてその在り方を検討してきます。いずれにしましても、保護者の皆さまにおかれましては、これまでと同様の感染防止対策と、日常的な健康観察、体調不良時の連絡などにご協力いただきますようご理解とご協力をお願いいたします。

「さあ、いこう！」

先のワールドベースボールクラシック 2023において見事優勝した Team Japan が、試合前に行っていた円陣での締めの一言です。私は、その短い掛け声の中に、前へと進むエネルギー、仲間との結束力、個人のもつ芯の強さを感じました。

令和5年度の始まりです。長良特別支援学校のみんな、「さあ、いこう！」

令和5年4月12日

校長 広井 隆司